



岩手県共同募金会 共同募金運動開始セレモニー



特集 岩手県共同募金会 「じぶんの町を良くする活動」を積極的に支援

重要さを増す 共同募金の役割



生活課題に取り組む市民・団体を支援

アクションプランいわて
2年目の着実な推進

今年も「じぶんの町を良くするしくみ。」をテーマに、10月1日から12月31日までの3か月間、赤い羽根共同募金運動が展開されています。

岩手県共同募金会及び市町村共同募金委員会は、昨年度、本県の地域福祉活動を財政面から支える共同募金を目指す「赤い羽根アクションプランいわて」（平成26年度～30年度）を策定し、初年度は地域福祉支援活動を重視した募金の増額など、さまざまな事業に取り組みました。

本年度は、なお一層「アクションプランいわて」の基本目標を達成するため、重点事項に「アクションプランいわて2年目の着実な推進」「被災地の復興支援と大規模災害への対応」を掲げ、「地域で社会の生活課題に取り組む市民・団体への積極的な支援」「新たな募金手法を積極的に取入れた募金の増額」などさまざまな事業に取り組んでいます。

各種事業の推進に当たっては、市民・企業・団体等の参加を得て、幅広く展開しています。

あったかいわてプロジェクト
地域みまもり応援募金
本年度も新たなパートナー（経済

平成27年度 重点事項

「赤い羽根アクションプランいわて」2年目の着実な推進

- ①地域全体の生活課題に取り組む市民・団体への積極的な支援
■誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるよう、住民全体のまちづくりの活動を支援する。
- ②新たな募金手法を積極的に取入れた募金の増額
■企業、NPO法人、スポーツチームなどの新たなパートナーと協働した新しい募金手法を取入れ、募金の増額に取り組む。
- ③組織の透明性を確保し、組織運営の強化を推進
■募金の使途について、寄付者、住民に分かりやすく広報し、透明性のある組織運営を進める。
- ④現行事業の見直しを積極的に推進
■本会及び市町村共募は、社会福祉協議会とともに情報共有や問題解決策の検討を行い、住民による地域福祉活動への支援を進める。

被災地の復興支援と大規模災害への対応

- ①東日本震災被災者への支援
■被災された住民自ら行う支え合い活動が、主体性・自主性の確保の意味からも重要な活動であることから、本年度も引き続き「住民支え合い活動助成」を実施する。
- ②大規模災害への対応、支援
■県内でも、近年大規模な災害が発生しており、災害等準備金の速やかな助成が期待されている。災害に備え、災害等準備金を計画的に積み立てるとともに、市町村共募、関係機関との連携強化を図る。

界団体、企業、NPO、スポーツチームなど）と協働し、売上げの一部が福祉活動を支える「あったかいわてプロジェクト」しあわせ運ぶお買い物」を実施しています。

また、本年度も平成28年1月から3月までの間、赤い羽根延長募金を活用して、生活課題の解決に取り組む団体を支援する「あったかいわてプ

プロジェクト」地域みまもり応援募金」を実施します。

昨年度の「地域みまもり応援募金」は、皆様から応援いただいた11、373千円余を東日本大震災被災者支援のほか、自殺やひきこもり対策、生活困窮者支援などに取り組む9団体へ助成することができました。

岩手県共同募金会

平成27年度の目標額と使いみち

地域の生活課題を解決する団体への活動事業費として **560万円**

女性の自立支援、高齢者・障がい者の孤立の解決と就労支援、障がい者の防災対応と防災意識向上、東日本大震災被災者支援事業

ボランティア団体、町内会などの地域福祉活動助成として **925万円**

社会福祉施設利用者へのサービス向上に向けた施設整備助成 **994万円**

火災などで被災した世帯への見舞金や災害時の活動支援として **1,347万円**

岩手県内で共同募金運動を推進するための経費として **6,539万円**

社会福祉協議会等が実施する地域活動事業費として **1億3,814万円**

高齢者支援、障がい者支援、子育て家庭支援、市町村における団体の福祉活動支援

歳末たすけあい助成 **1億4,190万円**

一人暮らし高齢者、障がい者等への年末の激励金、交流事業への助成、児童養護施設や里子等の入学・就労支度金、特別支援学校生徒の運転免許取得費助成、生活支援施設入所者への激励金、婦人保護施設入所者への被服購入費助成など

■目標額と使いみちの差額については、災害等準備金取崩額を充当します。

募金はあなたのまちの地域福祉活動に役立てられています



ひとり暮らし老人の集い（矢巾町）



盛岡市障がい者スポーツ大会（盛岡市）



お茶っこサロン（陸前高田市）



ふれあい昼食会（奥州市）

今年度の目標額

3億8,245万円

赤い羽根募金 **2億3,322万円**

歳末たすけあい募金 **1億4,923万円**

共同募金へたくさんのご協力をいただき
ありがとうございました

平成26年度の共同募金実績

3億7,725万円

赤い羽根募金 **2億3,500万円**

歳末たすけあい募金 **1億4,225万円**

積極的に福祉活動に協力

新たなパートナーと協働した募金手法を開拓

「あったかいわてプロジェクト～しあわせ運ぶお買い物～」

「赤い羽根サポーター宣言」（平成25年）から2年。プロバスケットボールチーム「岩手ビッグブルズ」（株）（岩手スポーツプロモーション山口和彦代表取締役社長）は、試合で1勝する毎に1,000円を寄付する勝利募金を行っています。セレモニーでは昨シ

「勝利募金」岩手ビッグブルズ



松岡取締役兼執行役員（左）に感謝状を手渡す桑島会長

「しあわせ運ぶお買い物」（株）ジョイス
赤い羽根共同募金「募金百貨店プロジェクト」登録企業の株式会社ジョイス（小苺米秀樹代表取締役兼社長執行役員）は、今年6月1日から7月31日まで、県内全店舗で寄付つき飲料4商品（※サントリーフーズ（株）が商品協力）を販売。赤い羽根共同募金運動開始セレモニー（以下、セレモニー）で、その飲料募金286,880円を贈呈し、桑島会長が感謝状を手渡しました。松岡取締役兼執行役員は「33店舗で販売し、多くのお客さまに協力を頂き、感謝しています」と述べました。

寄付つきメニューを販売



「積極的に社会活動へ協力したい」と感謝状を手にする山口代表取締役社長（左）

今年度も岩手県庁生活協同組合「いわてけんちよう食堂」と、ふれあいランド岩手内の「ふれあいレストラン雲の信号」では、赤い羽根募金運動の期間中、寄付つきメニューの販売に取組んでいます。
ラーメンや定食など対象メニュー1食につき20円が県共募に寄付され、その寄付金は民間団体等の地域課題解決の財源や福祉活動事業、災害支援活動などに使われます。
県共募及び市町村共募では、企業等の社会貢献活動につながる「募金百貨店プロジェクト」登録企業を募集しています。詳しくは県共募にお問い合わせください。

ズンの勝利募金41,000円を贈呈し、桑島会長が感謝状を手渡しました。
山口社長は「昨年は選手一丸となって、地域福祉活動を応援する取組みを行ってきました。地域に貢献するプロチームとして積極的に社会活動へ協力していきたいと思っています」と述べました。

平成27年度 あったかいわてプロジェクト ～地域みまもり応援募金～

住民に身近な生活課題に取り組む団体を支援

岩手県共同募金会では、平成28年1月1日から3月31日までの間、生活課題解決支援事業「あったかいわてプロジェクト～地域みまもり応援募金～」を実施します。

同プロジェクトは、県公募が公募した「生活課題解決支援事業」で採択された団体に、寄付者が団体及び事業を指定して寄付する募金です。

平成27年度は「地域から孤立をなくす活動」と「東日本大震災被災者支援事業」に取り組む右の5団体に助成されます。皆さまのご協力をお願いします。



地域から孤立をなくす活動

東日本大震災被災者支援事業

平成28年度「生活課題解決支援事業」助成内定事業一覧

●解決したい課題と具体的な活動内容●

NPO)母と子の虹の架け橋(花巻市)

■生きづらさを生き易さに「ママハウス」の女性相談事業

生きづらさを抱えた女性の自立支援

- 総合相談窓口としての包括的支援の実施・集いの場事業・総合相談・関係機関と連携した包括的支援の実施

高松第三行政区ふるさと地域協議会(花巻市)

■「あなたも私も役に立つ！みんなが主役のたかまつ」～共同農園がつなぐ人と地域～

高齢による孤立、障がいによる孤立、ひきこもりによる孤立の解決と就労の場づくり

- 共同農園の設置、運営・収穫祭の開催、農産物の加工・共同農園で生産された農産物や加工品を、配食サービス、見守り、声かけと併せて事業対象者に提供●孤立防止講演会の開催

いわて障がい福祉復興支援活動胆江圏域サポーターの会(奥州市・金ケ崎町)

■障がい者(児)を災害から守り、安心・安全に暮らせる地域づくりサポート事業

障がい者(児)の防災対応と防災意識の高揚

- 各種イベントでおねがいカードの説明、紹介等を行い、普及啓発を図る●行政や地域・障がい者施設等の防災訓練への参加、協力●地域住民を対象とする研修会や勉強会等を開催し、防災意識の高揚を図る

福)釜石市社会福祉協議会(釜石市)

■～ふれあいでコミュニティづくり～かまishi支援者応援事業

多角的に支援を行う被災者支援団体への活動支援

- 被災者を対象とした心のケアやコミュニティづくりの促進に取り組む団体に対して、活動費の支援を行う

福)大槌町社会福祉協議会(大槌町)

■東日本大震災被災者のコミュニティ形成支援事業

災害公営住宅入居者のコミュニティ形成及び「在宅」住民等との交流促進、住民の孤立防止

- 仮設住宅及び災害公営住宅入居者及び在宅住民の交流会、「お茶っこの会」の開催●世代間交流も含めた季節のイベントの実施●仮設住民の取り残され感の解消のため、団地間交流等を実施●プランターでの花卉栽培、水やり等の管理●「大槌町社協ふれあい福祉まつり」の開催

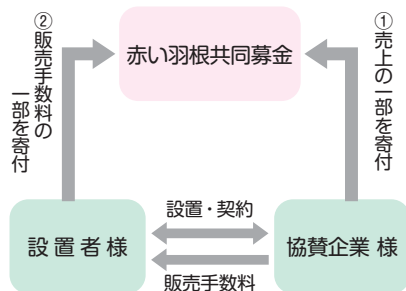
飲料メーカー及び自動販売機メーカーのご協力を頂き「赤い羽根募金自動販売機」設置による募金活動を推進しています

赤い羽根自動販売機の設置を促進しています

赤い羽根自動販売機設置協賛等 (覚書締結企業等)

法人名等	設置台数
NPO法人ハートフル福祉募金	4台
株式会社伊藤園	16台
ダイドードリンコ株式会社	12台
みちのくコカ・コーラボトリング株式会社	46台
みちのくキャンティーン株式会社	2台
ナショナル・ベンディング株式会社	2台
三陸自販機	12台
サントリービバレッジサービス株式会社	40台
株式会社ミチノク	12台
株式会社ジャパンビバレッジホールディングス	1台

※平成27年9月末現在 147台



※販売手数料からの募金は、協賛企業を通じて赤い羽根共同募金に寄付されます。

※岩手県共同募金会は、寄付金に対する領収書を発行しています。

県共同募金会では飲料メーカー及び自動販売機メーカーのご協力を頂き、「赤い羽根自動販売機」設置による募金活動を推進しています。平成27年9月末現在の協賛企業・法人は10か所、設置台数は147台となっています。

法人・企業・購入者などの社会貢献につながる赤い羽根自動販売機は、飲料を購入の際、その売上げの一部が赤い羽根共同募金に寄付されます。県公募及び市町村共同募金委員会(各市町村社協内)では、一層の普及・拡大を図るため協力者の募集に努めています。

詳しくは県共同募金会または市町村共同募金会(各社会福祉協議会内)にお問い合わせください。

東日本大震災の被災者支援及び自殺やひきこもり対策、生活困窮者支援に取り組む団体を応援するため、平成27年1月から3月まで応援募金を実施しました。

皆様から応援いただいた募金は次の9団体に助成しました。

(単位：円)

助成先	事業内容	助成額
NPO法人 岩手県青少年自立支援センター 「ボランの広場」	【事業名】不登校・ひきこもりの親子・若者の自立支援事業 【事業内容】相談、カウンセリング活動、居場所の提供・若者たち、親同士の交流の場づくり、学習会等の開催など	791,258
NPO法人 パワーアップ 支援室	【事業名】児童や住民との協働による地域社会の問題を改善するためのコミュニティの共創事業及び地域環境の整備事業 【事業内容】伝統行事の再開による地域内交流の活性化、地域のかかわり版による情報共有、見守りなど	432,000
NPO法人 サンガ岩手	【事業名】被災地における高齢者に対するこのころのケアと住民交流会活動の実施 【事業内容】傾聴ボランティアの実施、このころの相談室の開設、住民交流会の実施、広報活動、ものづくり教室の開催	1,510,000
NPO法人 みやこ自立 サポートセンター	【事業名】自立に困難を抱える若者に対する居場所と中間就労のための事業 【事業内容】居場所の設置、相談支援、機織りや農業体験、交流会・レクリエーションの実施	1,700,000
社会福祉法人 北上市社会福祉 協議会	【事業名】暮らし応援ハンドinハンド事業 【事業内容】生活困窮者支援フードバンク運営、学習支援、ひとり親ネットワーク支援	1,000,000
NPO法人 サロンたくきり	【事業名】みんなの健康づくりハウス、セルフヘルプ事業 【事業内容】サロン活動での健康相談、傾聴活動、被災者に寄り添っての傾聴活動、地域でのサロン活動の支援、月曜日・木曜日のサロンこころの実施、子育て相談、悩み相談など	1,200,000
社会福祉法人 陸前高田市 社会福祉協議会	【事業名】社会福祉法人陸前高田市社会福祉協議会福祉無償運送 【事業内容】利用登録を行った障がい者等に対する無償での移動支援	1,500,000
社会福祉法人 釜石市社会福祉 協議会	【事業名】ひとりぼっちを作らない「被災地交流の場づくり支援事業 【事業内容】公営住宅入居者に住民交流活動拠点を確保・提供、地域との交流が薄くなりがちな比較的若い世代を巻き込んだ交流支援事業を実施	1,360,000
社会福祉法人 大槌町社会福祉 協議会	【事業名】おおつちまつりで会いましょう！ 【事業内容】町外への避難を余儀なくされている100名をおおつち祭りに招待し、友人・親戚等とともに祭を楽しんでもらう、思い出の写真返却展、町の復興状況の説明を行う	1,880,000

北上市社会福祉協議会

応援募金を活用した
暮らし応援ハンドinハンド事業

北上市社協では平成26年度「あつたかいわてプロジェクト」地域みまもり応援募金への助成を受けて、市社協内の「暮らしの自立支援センターきたかみ」と、「なんでも心配ごと相談センター」と連携して▽生活困窮者支援フードバンク運営▽学習支援▽ひとり親ネットワーク支援に取り組んでいます。

セーフティネットの役割を担う

生活困窮者支援フードバンクは、何らかの理由で生活が困窮したり、当面の食糧がない世帯に対して、市民から募った保存のきく食品を提供し、生活維持の支援を行う食のセー



市民から寄せられた食品



応援募金を活用した事業に当たる
菊地里枝地域福祉課長補佐



学習支援

事業は、何らかの理由で学校以外

学習支援

フティネットです。今年4月から10月末までの市民からの食品の寄付件数は約111件、約90人に食品を提供しました。食品を手渡す際は（お渡しした食品は市民を始めとした皆様からご寄付をいただいたものです。今後の生活の力としていただければ幸いです）と記されたお手紙を添えています。生活困窮者自立支援事業に取り組む社協福祉センターには、食品保存庫が設けられています。今後、職場や団体、学校に向けて「食品を集める運動（フードドライブ）」を進めていく予定です。

食品を集める運動（フードドライブ）を進めていく予定です。

で十分に学習することが困難な児童及び生徒に対して、学習支援とあわせて居場所づくりや学習支援ボランティアとの交流を図る事業です。

今年度は夏休み期間中に延べ14人の児童らが参加し、教職員OBや市内の専門学校生らが学習支援ボランティアとして協力しました。引き続き冬休み期間中も実施（計5回）し、新たに和賀地区での実施も予定しています。

事業を担当する菊地里枝地域福祉課長補佐は「共同募金が地域に還元されていることを実感しながら、生活困窮者支援などの課題解決に取り組んでいます。各事業を通じて市民の支えあい意識を高め、目に見える地域福祉活動を定着させたいと思っています」と話しています。

共同募金への寄付と税制優遇

共同募金会は、税制上、国や地方公共団体と同じように、寄付に対する「優遇措置の対象団体」になっています。税制上の優遇措置が講じられているのは、共同募金会の行う事業が社会福祉法によって位置づけられた運動であり、共同募金による助成が社会福祉の増進に貢献していると、社会的評価を得ているためです。

- 個人のご寄付・・・所得税の所得控除または税額控除、住民税の税額控除
- 法人のご寄付・・・法人税の「全額損金」算入

■お問い合わせは

岩手県共同募金会または市町村共同募金委員会（各市町村社会福祉協議会内）へ



紫波町共同募金委員会（町社協内）では4年前に町社協ホールに1台設置し、ふれ愛交流館(デイサービス)利用者らから好評です。また昨年度は、近くの「ラ・フランス温泉館」に1台設置しました。

吉岡奈緒美生活福祉資金相談専門員は「気軽に募金できる自販機は、助けあい・支えあい意識を高めることにもつながります」と話しています。